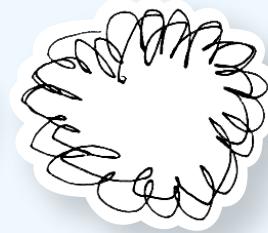


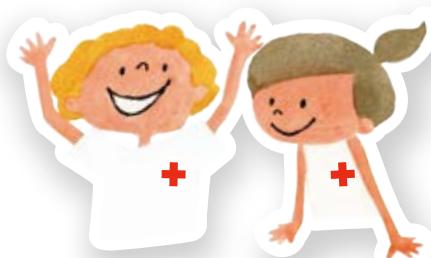
# せきじゅうじって、 なんだろう？



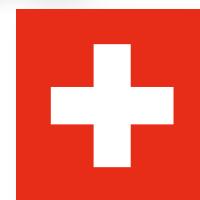
# せきじゅうじ 赤十字のマーク



みんなの むね についている マークを 知っていますか？  
これは、赤十字のマークです。



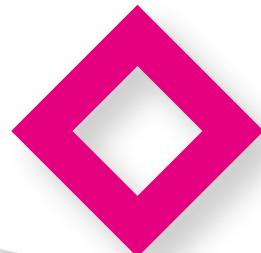
せきじゅうじ  
赤十字を つくったアンリー・デュナンが  
う  
生まれた「スイス」のこっきの 色を  
いろ  
はんたいにして つくられました。



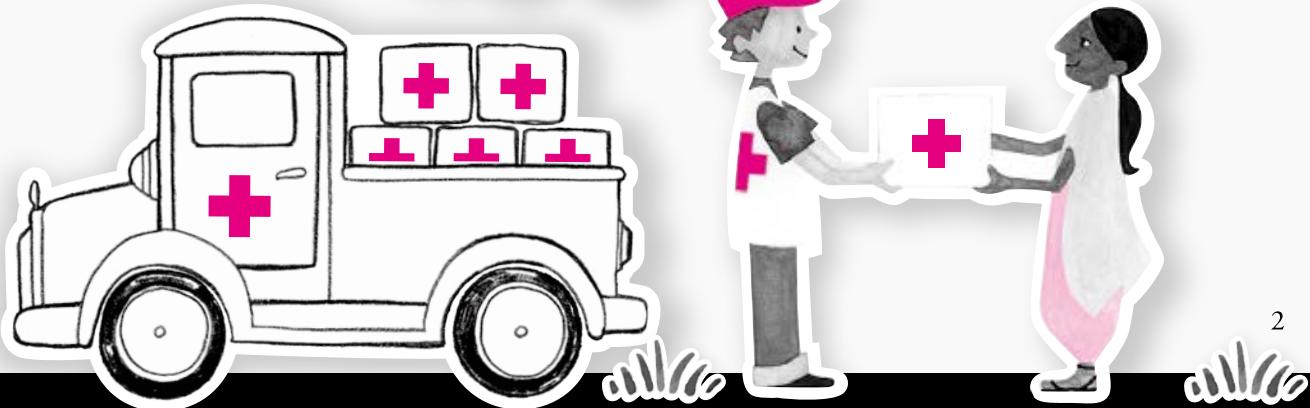
しかし、せかいには、いろいろなりゆうで、このマークを  
つかえない国もあります。そこで「赤新月マーク」が  
つくられ、「赤十字マーク」と同じものとして  
つかわれるようになりました。



さらに、2005年には「レッドクリスタルマーク」も  
赤十字のマークにくわわりました。



赤十字のマークは、いのちをまもるための大切なマークです。  
せかいじゅうじで、くるしんでいる人や、その人たちを  
たすける人を、まもるためにつかわれています。  
そのため、このマークがついている びょういんや ひとには、  
せんそうちゅうでも ぜったいにこうげきしては  
いけないことになっています。  
このことは、「ジュネーブじょうやく」という、  
せかいの やくそくで きめられています。



# せきじゅうじち 赤十字の父 アンリー・デュナン

いまからやく180年まえスイスのジュネーブという町に、デュナンという男の子が生まれました。

デュナンはとてもやさしい子でおさないときからびょうきの人を元気づけたりますしい人のお手つだいをしたりしました。

大人になったデュナンがしごとでイタリアのソルフェリーノという町を通りかかったとき、そこにはせんそうできずついたたくさんのけが人が手当てもされずにくるしんでいました。



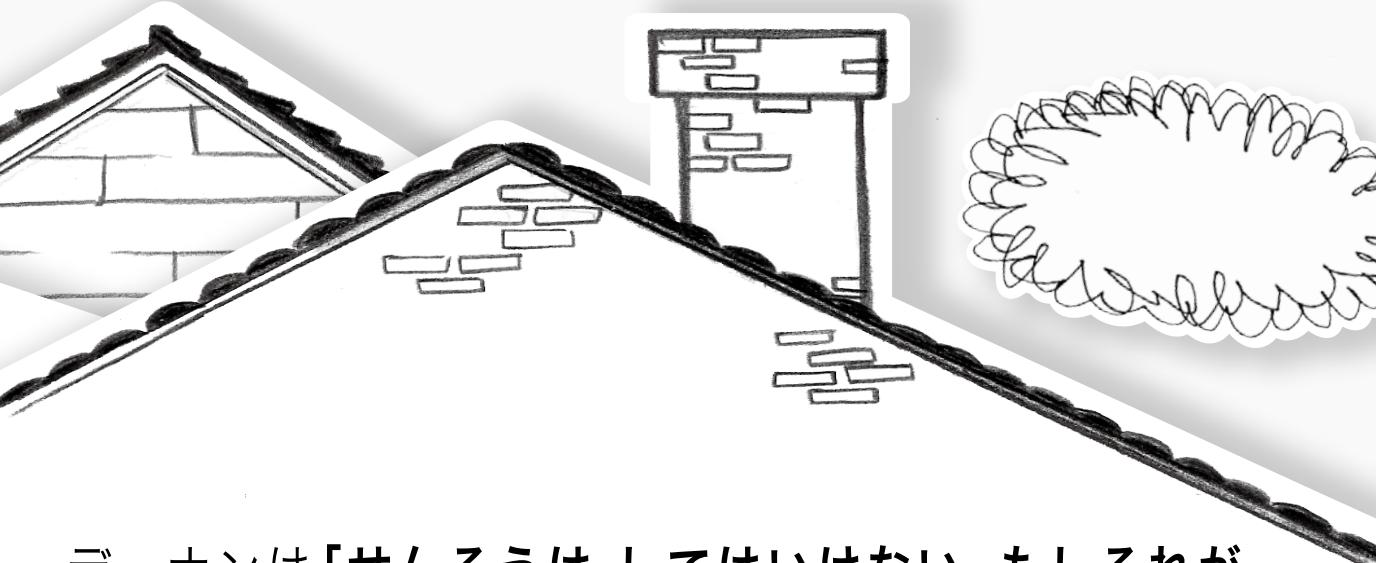
デュナンはかなしくてむねがはりさけそうになりました。すぐに町の人によびかけて手当てをはじめました。

「きずついた人はてきもみかたもありません。  
人間はみんなきょうだいです。」

デュナンはそういうて手当てをしました。



ふるさとに帰ったデュナンはなやみました。デュナンの頭からくるしみながらしんでいった、たくさんの人たちのすがたがはなれなかったからです。



デュナンは「せんそ うは しては いけない。もしそれが でき ないのなら けがを した人は みんな たすけま しょう。」と、よびかけました。

デュナンの よびかけに たくさんの ひとたちが さんせいしました。そして 16 の 国くに のだいひょうの ひとたちが はなしあって 赤十字じゅうじ を つくりました。

デュナンは このかいぎを しずかに 見まもって いましたが かいぎが おわったとき デュナンの 目めには なみだが あふれて いました。



その 後あと も デュナンは 赤十字じゅうじ のために いっしょ けんめい はたらいて 79さい のとき に ノーベルへいわしょう を もらいました。 デュナンは なくなるまで ひとびとの かんが しあわせを 考え しづかに しょ うがいを とじました。



# にほんせきじゅうじしゃ 日本赤十字社のおこりとかつどう

アンリー・デュナンがつくった赤十字は、  
げんざい189の国ぐで  
かつどうしています。

日本の赤十字は1877年に  
佐野常民によってつくられました。

大きなたたかいが日本であったとき、



そのたたかいでけがをした人を、  
てきでもみかたでもくべつななくたすけたひとによって、  
日本の赤十字は生まれたのです。



130年近くたったげんざいでも、日本赤十字社は  
日本かくちでいのちをまもるかつどうをしています。

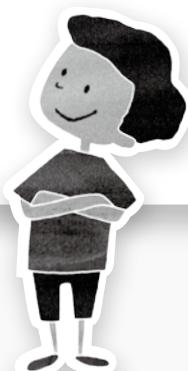
# せき じゅう じ 赤十字は

- ・せんそうや ふんそうで けがをした人を たすけます
- ・さいがいの ひがいにあった人を たすけます
- ・びょうきて くるしんでいる人を たすけます
- ・お年よりや しょうがいの ある人を たすけます

これらのかつどうは、国や せいべつ、  
しゅうきょうなどによって さべつすることなく  
おこなわれています。これらは ボランティアの  
きょうりょくでおこなわれています。みなさんのような  
青少年も、赤十字の大切な なかまです。



みんなが、いのちと けんこうを 大切にし、  
お友だちと なかよくするかつどうを、  
「青少年赤十字」といいます。



# せい しゅう ねん せき じゅう じ 青少年赤十字

## ○たんじょう

いまから 90年くらい前に ヨーロッパで

大きなせんそうがあり、

たくさんの子どもたちが いえやかぞくを うしました。

そんなとき、アメリカや

オーストラリアの子どもたちが

ヨーロッパの子どもたちをなぐさめ

はげまそうと、

がっこう せんせい  
学校の先生とそくだんして

さく ふん え  
作文や絵、がくようひんや

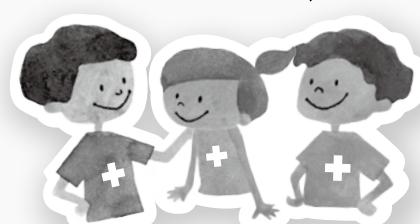
かね せき じゅう じ しゃ  
お金をあつめ、赤十字社に もっていきました。

そしてそれらが 赤十字社から

ヨーロッパの子どもたちにおくられました。

子どもたちは、とてもゆうきづけられました。

このことが きっかけとなり 自分から すすんでお友だちや  
そのほかの人のために よいおこないができるようにと、  
青少年赤十字が 生まれたのです。



# ○かつどう

だれもが もっている やさしい気もちを お友だちや  
ほかの人たちに あげることです。やさしい気もちを  
こうどうに うつすことが 大切です。  
自分で 気がついたことや よいと思ったことは どんどん  
してみましょう。先生や おうちの人々に 言われたから  
するのではなく、自分で 考えて するのが 大切なことです。  
たとえば、こんなこと

## がっこう 学校で

き 気づき 校ていに ボールが おちている。

かんがえ どうして つかいっぱなしにするんだろう。  
ボールが かわいそうだな。  
なくなってしまうかもしれない。

じっこう 実行する もとのところにもどしておく。



## がっこう 学校のそとで

き 気づき おうだんはどうを わたれないで こまっている  
おじいちゃんが いました。  
あっ、こまっている人が いる。

かんがえ どうしたら むこうがわに  
わたれるかな。

じっこう 実行する ボタンを おしてあげる。  
いっしょに わたってあげる。



# ○もくひょう

青少年赤十字の なかまは、わたしたちだけではなく、ほかの小学校や中学校、高校などに たくさんいます。わたしたちは、いつも元気で学校のお友だちと なかよくするだけでなく、せかい中の友だちとも なかよくし 毎日、楽しい 生活ができるよう よいおこないをしていきましょう。

青少年赤十字では、わたしたちが 赤十字のことを よく知って、みぢかなところから たすけあいや 思いやりの 心をひろげ、人のためと自分のためにどりよくできるよう じっせんもくひょうというものをきめています。

## 1 けんこう・あんぜん

自分や ほかの人のいのちと けんこうを大切にし  
あんぜんな生活を こころがけます。  
学校では、しゅうだん登下校、手あらいやうがい・  
きゅうしょくのあとのはみがきなどをすすめます。  
きゅうしょくや 朝ごはん・夕ごはんを  
すききらいなく なんでも食べましょう。



## 2 ほうし

かていで、学校で、町の中で たすけあいを  
すすめます。ぼきん、しようずみ切手あつめ、  
しせつほうもんなどを おこないます。  
こまっている人を見たら いつでも  
親切にし、たすけてあげましょう。



### 3 こくさいりかい・しんぜん

せかいのお友だちとなかよくします。  
こうりゅうしゅうかいへのさんか、しんぜんアルバムづくりなどをおこないます。このようなことに 気をつけて  
まいにち 毎日をおくっていくと、たくさん友だちができ、  
おうちや学校、町の中が とても明るくなり、  
じぶん 自分だけでなく ほかのお友だちも みんな毎日たのしく  
よい気もちで すごすことができるようになります。

さあ、まず自分からやってみましょう。



### もっと知りたいみなさんのために

赤十字や 青少年赤十字について、もっとくわしく知りたいさんは、  
つぎのしりょうを先生といっしょによんでみましょう。

#### 赤十字のマークについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：31ページ

#### ジュネーブじょうやくと赤十字のきまりについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：32～34ページ

#### アンリー・デュナンについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：26～30ページ

・赤十字の父 アンリー・デュナン

#### 日本の赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：37～41ページ

#### せかいの赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：35～36ページ

#### 青少年赤十字について

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：4～11ページ, 18～25ページ

#### ボランティアについて

・青少年赤十字ハンドブック（小学生用）：12～17ページ



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

